

急遽決定

# LEO GENOVESE & TOM RAINEY 両氏によるマスタークラス開催のお知らせ

日時： 3月3日（日曜日）  
午後2:00 - 4:00頃まで

場所： BODY AND SOUL 南青山  
東京都港区南青山6丁目13-9  
アニスビルディング B1F

参加費： 予約3000円/学生2000円（要学生証）

\*予約なし当日は参加費500円増

概要： ○須川崇志トリオのCDリリースツアーで来日するピアニストのレオ・ジェノヴェーゼ、ドラマーのトム・レイニー両氏による日本で初めてのマスタークラス。

○トリオでの演奏後に、両氏が皆様からの質問にお答えする、ミニライブ&質疑応答形式です。

○バリバリのプロミュージシャンから初心者の方、さらにはリスナーや聴講のみの方までどなたでも大歓迎です。お気軽にどうぞ！

○楽器が必要な方は各自ご持参下さい。（ピアノ、コントラバス、ドラムセットはあります）

ご予約&問い合わせ： [takashisugawa@gmail.com](mailto:takashisugawa@gmail.com)

メール件名：マスタークラス

メール本文：予約のお名前と人数をお知らせ下さい。

## Leonardo Genovese - piano

### レオナルド・ジェノヴェーゼ - ピアノ

1979年生まれ、アルゼンチン、ヴェナードトゥエルト出身。5~6歳の頃にピアノを始める。ロザリオ国立大学でクラシック音楽を専攻後、2001年にボストンへ移住。2003年にパークリー音楽大学を卒業し、翌2004年にファーストアルバム「HAIKUS II」2007年に「Planet Safety」2008年に「Unlocked」2013年に「SEEDS」らをリーダー作品としてリリースしている。

2005年頃から、グラミー賞受賞者のエスペランサ・スポルディングと共にレコーディングやワールドツアーに参加、他にもウェイン・ショーター、ジョー・ロバーノ、ジャック・ディジョネットらのレジェンドたちと頻繁に共演している。

現在ニューヨーク在住。自身のバンド「アルゼンティーノザウルス」(ジャック・ディジョネット、エスペランサ・スポルディング)や、「クロマティックガウチョス」での活動の他、近年は、プエルトリコ発、スペイン語圏で絶大な人気を誇るラッパーでソングライター、レジデンテ(グラミー賞ノミネート、ノーベル平和サミット賞受賞)のバンドのミュージックディレクターも務める。また、レオはキャリアの早い時期から自身の音楽について、「エンターテインメントとしてだけでなく、経済的、社会的、政治的な困難に悩まされている人々の前向きな力となって、役に立ちたい」という考えを表明している。



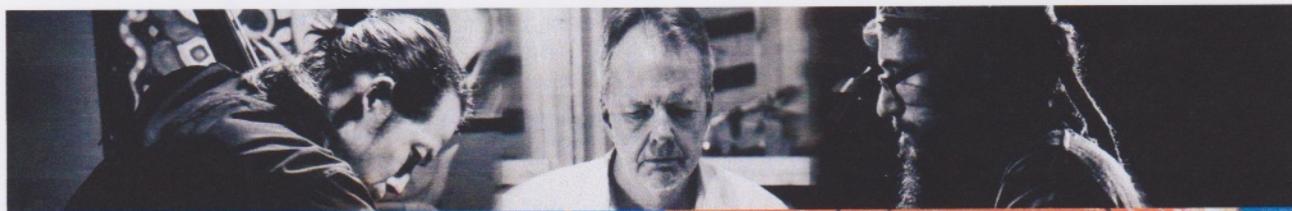
## Tom Rainey - drums

### トム・レイニー - ドラム

1957年生まれ、カリフォルニア州サンタバーバラ出身。パークリー音楽大学を卒業後、1979年にニューヨークに移住。以来、主に北米とヨーロッパで非常に多くのミュージシャンと共演や録音をする。ジョー・アバクロンビ、ティム・バーン、テッド・カーソン、マーク・デクレ、デビッド・トーン、フレッド・ハーシュ、ジョー・ロバーノ、カルメン・マクレーンなど、共演者は枚挙に暇がない。

レイニーの膨大な録音作品クレジットや、サイドマンとして彼がサポートしてきたミュージシャンらが創り上げてきた音楽シーンは、80年代後半以降から今日までのクリエイティブなニューヨークアンダーグラウンドジャズ、モダンジャズのシーンそのものとなっており、現在ニューヨークにいるドラマーで最も重要な存在の一人である。

2010年に、トム・レイニートリオ(メアリー・ハルヴォーソン、イングリッド・ラブロック)で初リーダーアルバム「Pool School」をクリーンフィードレコードよりリリース。近年は、スイスのチューリッヒを拠点とするレーベル、インタクトレコードより、同トリオ作品を多くリリースしている。2018年11月に、ネルス・クラインのトリオのドラマーとして初来日。今回が二度目の来日となる。



### Takashi Sugawa Trio feat. Leo Genovese, Tom Rainey — Debut CD 'Outgrowing' release tour —

- 3/2 (土) 桐生 The Village
- 3/4 (月) 仙台 エルパークスタジオホール
- 3/6 (水) 福岡 New Combo
- 3/7 (木) 飛騨 飛騨市文化交流センター
- 3/8 (金) 京都 Bonds Rosary
- 3/9 (土) 東京 新宿 Pit-Inn Sp.ゲスト:八木美知依(箏)